



人文社会科学部の将来展望 およびSRUに係る取組

人文社会科学部長 岩佐 和幸

SRUミーティング 2023年10月30日

将来構想の検討（2022年4月～現在）

• 背景

- 教員数減少に耐えられるレジリエントな体制
- 2つのアプローチ：「フォーキャスティング」「バックキャスティング」
 - 第4期は、理念に近づくための準備作業

• 作業状況

- 学部運営委員会を核に、構成員全員で将来像とアプローチを検討
- 教員アンケート、若手ミーティング、ステークホルダー協議会
- ①学部ミッション、②カリキュラム、③組織のあり方の提示

現在の到達点

- 組織のあり方：改組の可能性も含めて検討

3コース・3学位を維持（改組の実質化）

ただし運営は1学科にふさわしい学部共通化シフトへ

合理的な入試改革：前期（英語・小論文）、3年次・後期見直し、推薦の改善

- 学部カリキュラム再編

教員減に対応したスリムで対外的に明快なカリキュラムづくり

プラットフォーム科目改革：共通教育再編と連動

学部理念＝人文社会科学的教養の明確化→学部共通（3コース提供）＋3分野

- 学部・大学院の連携と教育の高度化

早期修了プログラムの検討（5年で学士＋修士）

学外/地域へのアウトリーチ：SRU関連

- 多文化交流コーディネーター養成プログラムの立ち上げ

2022年度始動。関連科目整備、初年度6名認定

- 日本語教員養成課程の拡充と地域連携

四国内での教育体制の優位性 & 文化庁による地域日本語教育の法整備

→ 学長枠獲得で2名体制へ。

教員育成 & 地域ボランティア支援拠点に向けた連携づくり

- 地域課題への協力・連携

高知県史事業（古代中世～現代まで） → デジタルアーカイブの模索

外国人労働者・住民増 → 学長裁量経費の獲得を通じたプロジェクト着手

学部ミッションの再定義に向けて

2016年改組時の「養成する人材像」

①経済・社会・文化が一国の枠を越えて一段と結び合う一方、その急激な展開が、個々の地域で又個別の組織・集団の間で摩擦を生み出し、それをのりこえる新たな必要性に直面している。この課題に対応するため、人文社会科学の専門的、学際的教養をそなえて、グローバルかつローカルな課題の把握・解決のために貢献できる人材を養成する。

②学生は、「人文社会科学領域」の教養を基軸として、人文社会科学に関連する教養の修得に並行させ、特定分野の専門教養の修得を可能にする「コース」に所属して個別指導を受け、それを通して、グローバルかつローカルな課題の把握・解決のための専門的教養を身につける。

世界史的転換期における大学の役割

多重的危機（Polycrisis）と人類史的課題解決の期待

① グローバル化・デジタル化・新自由主義と経済・社会・環境の存続可能性

貧富の差の拡大、社会の分断、民主主義の空洞化と権威主義、
気候変動・新興感染症の続発等

② 日本国内の地盤沈下：地域的表出としての東京一極集中と地方の疎外

都市（東京）と農村（地方）の対立、衰退・消滅危機の農山漁村

「課題先進地域」としての高知県：

人口は100年前に回帰 vs 今日的危機からのオルタナティブの源泉

人文社会科学の普遍性とリベラルアーツの再評価

- リベラルアーツ＝人間を自由にする技

転換期における批判的思考力と共感力、それに基づく世界市民の育成

(マーサ・ヌスバウム『経済成長がすべてか?』岩波書店、2013年)

- 重層的な現代的課題とリベラルアーツの役割

- 市場・技術的有用性だけで解決できない価値体系、自然との関係や社会関係を理解、専門知を総合化する人文社会科学的教養の意義
- 変動激しく、先行き不透明な時代に、世の中の仕組みを把握し、自ら判断できるような将来世代＝市民社会の担い手を育成

改めて高知大学のミッションとは 「周辺部」に立地する独自の役割

- ・ 「自由と革新」の地における大学教育

自然と結びついた独自の暮らし、それに基づく産業・社会・文化、
そこから生まれた自由・自立の批判的精神

(eg) 自由民権運動、教科書無償化運動、生コン事件、反原発運動・・・

- ・ 高知大学人文社会科学部の歴史的ルーツ：「リベラルアーツ」の伝統

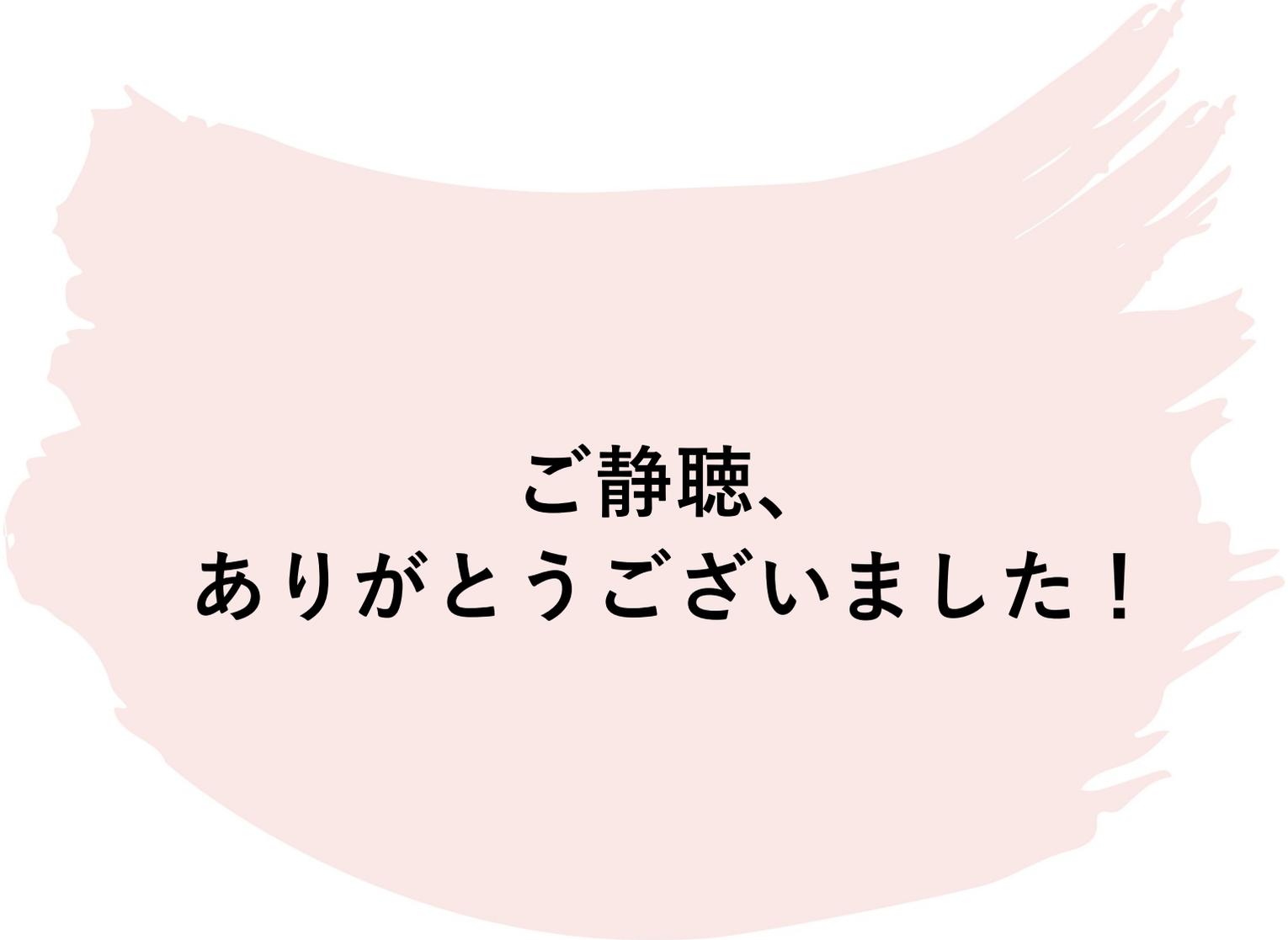
文理学部時代より、一般教育と専門教育の一体的運営

一般教育担当教員も学部教員も、双方の授業担当(『高知大学50年史』)

→ 分野を越境し、知識をつなぎ、言葉を用いて運用する力を育成する場

学部の新たなミッション実現に向けた課題

- 今日のリベラルアーツ教育と一層の高度化に向けて
学部での幅広い教養の獲得＋大学院での専門体系の深化
- リベラルアーツ教育の基盤となる組織的研究体制
プロジェクト研究の始動：出版への展開
高知人文社会科学会の復活
- 学部ミッションにふさわしい組織運営の合理的スリム化
- 学部の意義発信のための対外的広報活動の強化
広報手段 & 入試形態別のターゲット型広報展開



**ご静聴、
ありがとうございました！**